

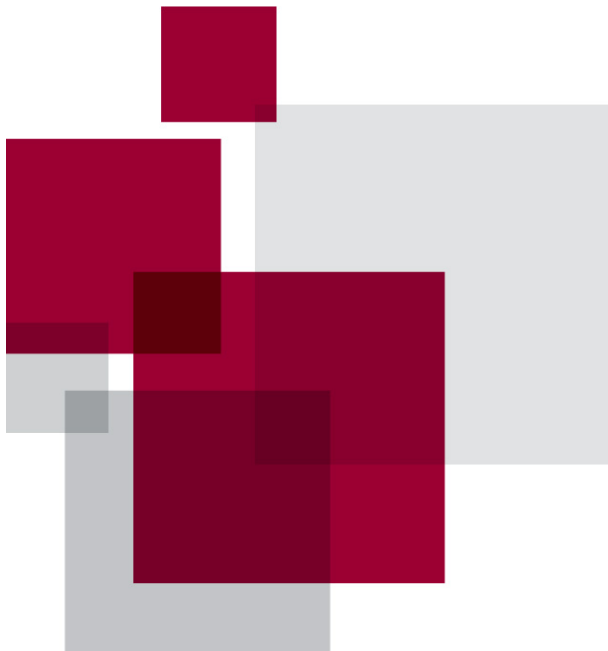


2011年12月期(1-12月) 決算説明資料

日本ベリサイン株式会社 (3722 東証マザーズ)

2012年2月9日

本資料に記載された業績予想ならびに将来の予測は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、記載されている予想数値と異なる場合があります。



2011年12月期 決算

2012年12月期 業績予想

各セグメントの取り組み

SSLサーバ証明書

クライアント認証

ドメインマネジメント



2011年12月期 連結損益計算書 概要

- 売上高 は、▲2.3%(前年比)
 - 2010年12月の連結子会社売却による減収の影響を除けば、実質的に増収
- 営業利益 +9.1%、経常利益 +11.6%(前年比)
 - 販管費の効率的な費消による
- 当期純利益 ▲69.6%(前年比)
 - 2010年度は子会社売却に伴い発生した繰越欠損金に対する法人税等調整額が一時的に増加
 - 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額66百万円を計上

(単位:百万円)

	前年との比較				連結業績予想	業績予想比 達成率
	2011年 1-12月	2010年 1-12月	増減額	増減率	2011年 通期	2011年1-12月 実績 / 2011年通期 予想
売上高	6,788	6,949	▲160	▲2.3%	7,000	97.0%
営業利益	1,447	1,327	+120	+9.1%	1,370	105.7%
営業利益率	21.3%	19.1%	—	—	19.6%	—
経常利益	1,504	1,348	+155	+11.6%	1,420	106.0%
純利益	665	2,189	▲1,524	▲69.6%	810	82.1%



2011年12月期 貸借対照表

- 現預金の減少
 - － 有価証券 3,618百万円の取得(満期保有目的の社債取得)
- 投資その他の減少
 - － 繰延税金資産 533百万円の減少

(単位:百万円)

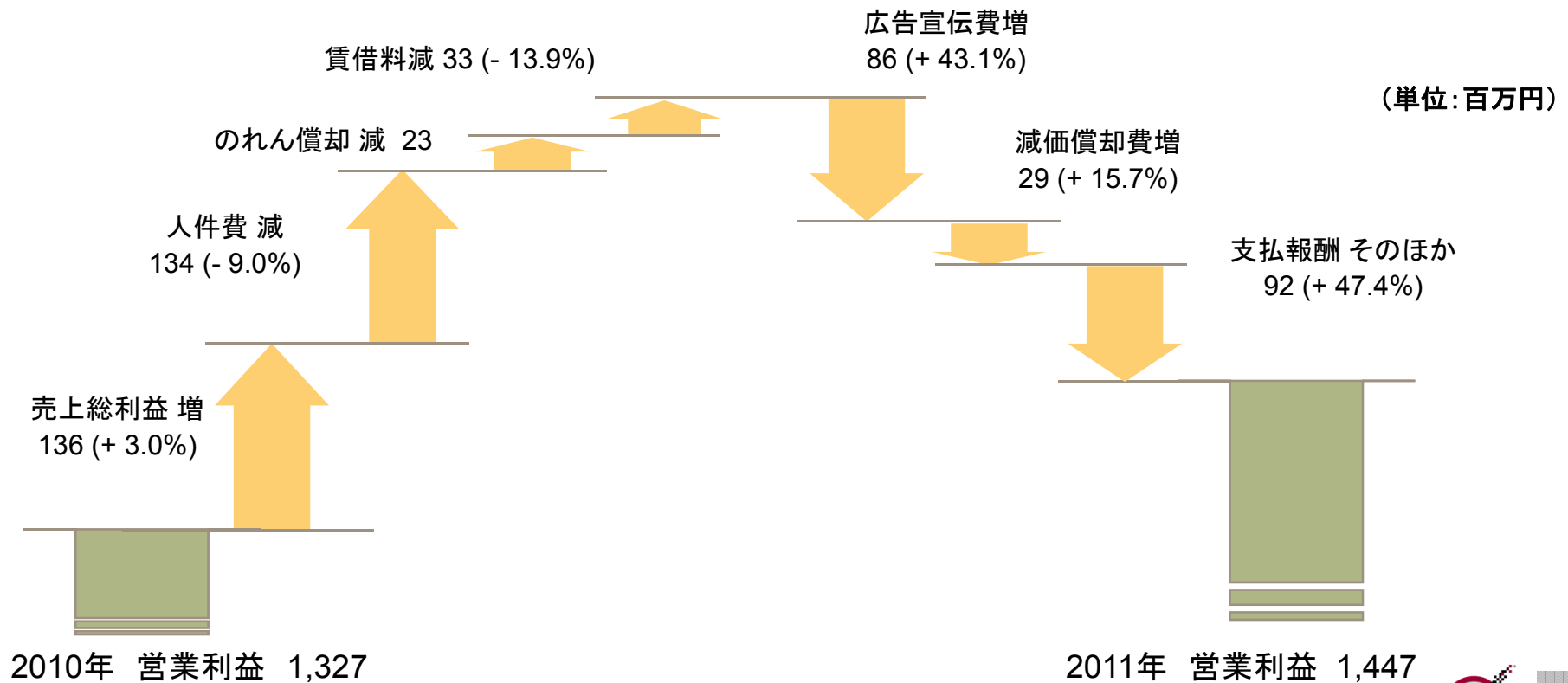
	2011年 12月	2010年 12月	増減
資産の部			
現預金	8,724	9,849	▲1,125
その他流動資産	6,217	3,998	+2,218
有形固定資産	478	576	▲98
無形固定資産	601	427	+174
投資その他	447	1,231	▲783
資産合計	16,469	16,083	+385

	2011年 12月	2010年 12月	増減
負債の部			
前受金	3,530	3,560	▲30
その他負債	813	670	+143
負債合計	4,343	4,231	+112
純資産合計	12,125	11,852	+272
負債純資産合計	16,469	16,083	+385



2011年12月期 営業利益の前年との比較

- 営業利益は 1,327 → 1,447百万円、前年比 +9.1% の増益
 - 売上総利益が136百万円増加 ← 給与ほか労務費と、外注費の減少により売上原価の減少
 - 人件費が134百万円減少 ← 業務効率化により人件費を抑制
 - 広告宣伝費は、リース獲得費用に加えて、当社サービスの認知に向けて積極的に費消



2011年12月期（1-12月）セグメント情報

- SSLサーバ証明書サービス、クライアント認証サービス が好調 （単位：百万円）

セグメント	11年1-12月 売上高	10年1-12月 売上高	10年との 増減率	10年との 増減額
セキュリティ・サービス事業				
SSLサーバ証明書サービス －EV-SSL証明書、企業認証、サーバ証明書 －ジオトラストブランドによるドメイン認証サーバ証明書	4,723	4,586	+3.0%	+136
クライアント認証サービス －マネージドPKI(電子認証局業務のアウトソース) －VIP(ワンタイムパスワード、リスクベース認証 など) －MDM(モバイル端末の一元管理)	1,933	1,763	+9.6%	+170
その他サービス －ドメインマネジメント	131	175	▲24.8%	▲43
小計	6,788	6,525	+4.0%	+263
ITサービス・マネジメント事業 － 子会社による 24時間のネットワーク監視	--	424	--	▲424
合計	6,788	6,949	▲2.3%	▲160

(※) ITサービスマネジメント事業は、2010年12月の子会社売却に伴い、2011年度は該当なし。



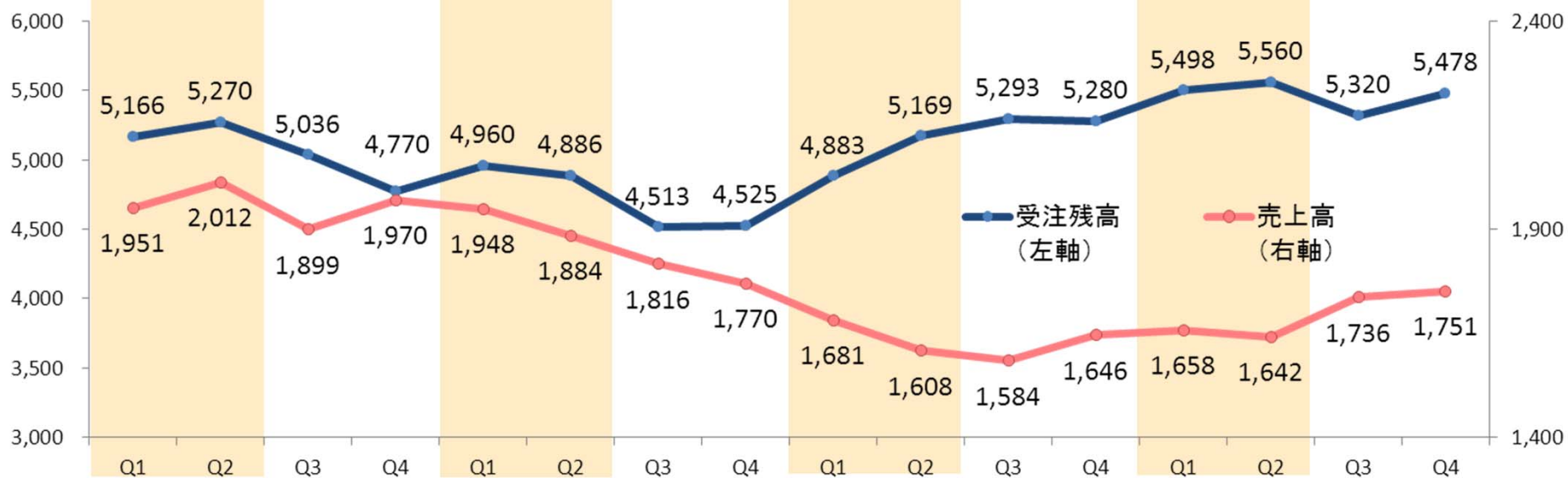


2008年以降 売上高・受注残高 推移

- 2009年 Q3 を底に受注残高が増加。クライアント認証サービスが堅調

(単位 百万円、サイトロック社分を除く)

	2008				2009				2010				2011			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
受注残高 (左軸)	5,166	5,270	5,036	4,770	4,960	4,886	4,513	4,525	4,883	5,169	5,293	5,280	5,498	5,560	5,320	5,478
売上高 (右軸)	1,951	2,012	1,899	1,970	1,948	1,884	1,816	1,770	1,681	1,608	1,584	1,646	1,658	1,642	1,736	1,751



受注残高

SSLサーバ証明書サービス

2009年 Q3

2,934

2011年 Q4

3,467 (+ 18.2 %)

クライアント認証サービス

1,468

1,839 (+ 25.3 %)





2011年12月期 決算

2012年12月期 業績予想

各セグメントの取り組み

SSLサーバ証明書

クライアント認証

ドメインマネジメント





2012年業績予想

- 売上高を伸ばし、積極的に広告宣伝活動を展開

(単位:百万円)

	2011年度	2012年度予想	増減率
売上高	6,788	7,200	+ 6.1%
営業利益	1,447	1,400	▲3.3%
営業利益率	21.3%	19.4%	—
経常利益	1,504	1,420	▲5.6%
純利益	665	820	+ 23.2%
1株当たり配当金 (期末)	540円(予定)	550円(予定)	+ 10円



2011年12月期 決算

2012年12月期 業績予想

各セグメントの取り組み

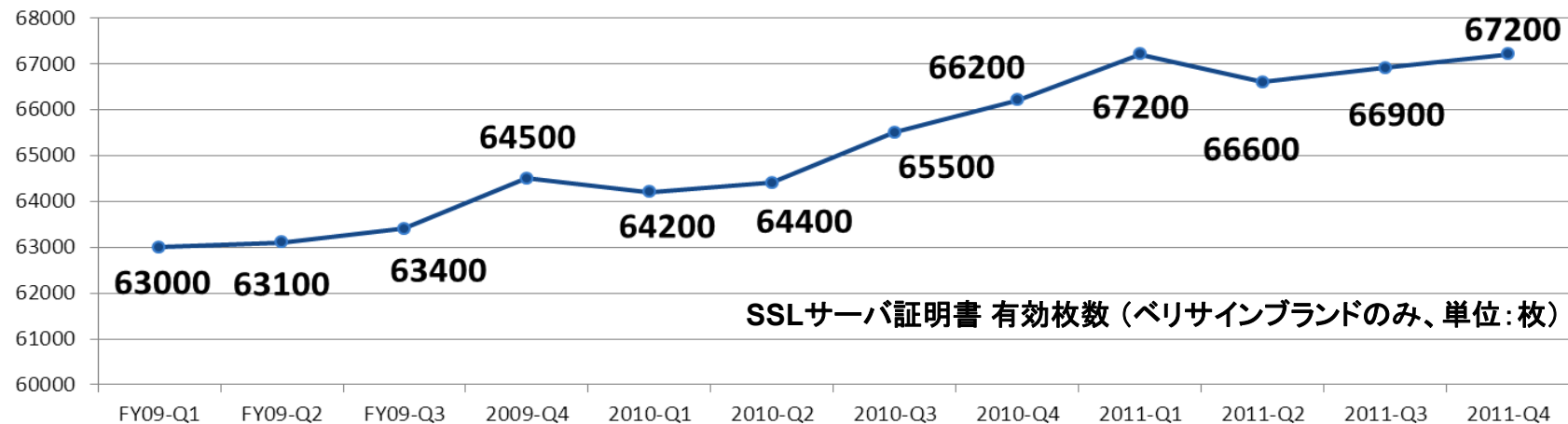
SSLサーバ証明書

クライアント認証

ドメインマネジメント

2010年、2011年との比較

- 売上高 増加(4,586 → 4,723 百万円、+3.0%)の背景
 - 有効枚数は、前年度2010年度を上回る水準で推移
 - SSLサーバ証明書の機能追加による差別化推進に成果あり、単価を下支え



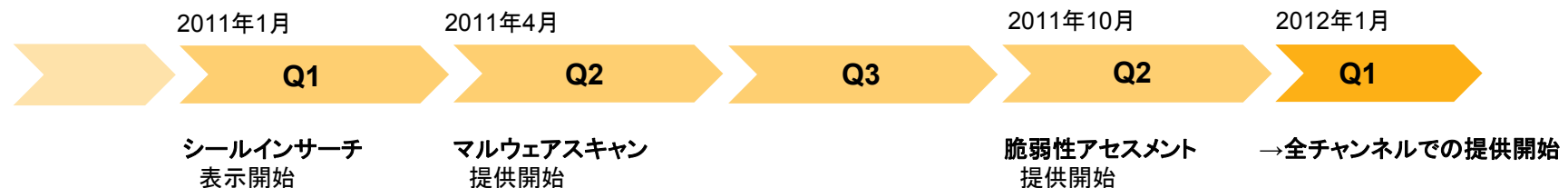
- 受注高 減少(5,111 → 4,738百万円、▲7.3%)の背景
 - 直販からの新規獲得が停滞
 - 暗号鍵長の変更があり、2010年中に受注が前倒しとなった経緯あり

- 2012年も、他社との差別化・付加価値向上の施策を継続



差別化 と すそ野の拡大

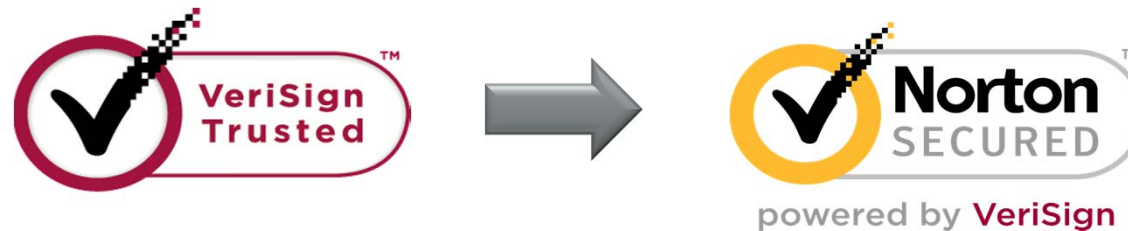
- 先端の機能を無償バンドル化、差別化により単価と数量を向上させる
 - シールインサーチ
 - 検索結果にウェブの「安心の証」ベリサインシールを表示、検索エンジンからの集客を支援
 - マルウェアスキャン
 - ウェブサイトに埋め込まれた悪意のあるプログラムを検知し、報告
 - 脆弱性アセスメント
 - サイト機能の弱点、データ流出、破壊、改ざんを起こしうる潜在的脅威を検出し、報告



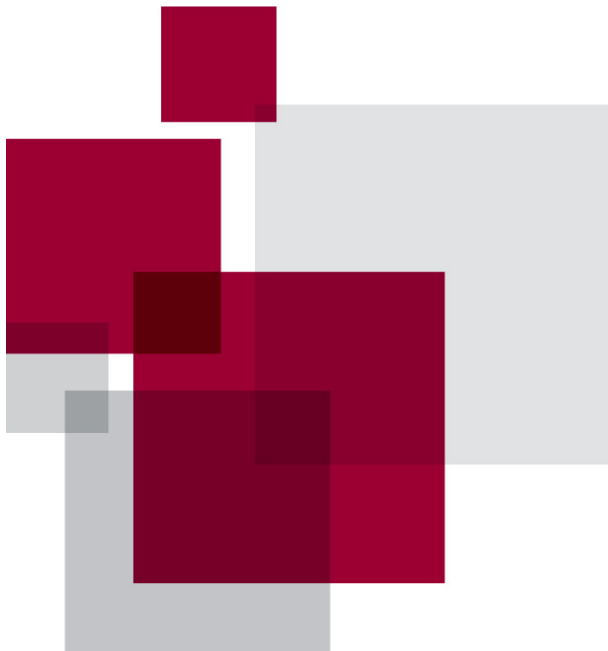
- 利用者のすそ野拡大により数量を一層拡大
 - ベリサイントラストシール
 - 企業認証と上記3機能を安価に提供(暗号化通信なし)、オンラインでの信頼性を補完
 - GeoTrust ブランドによるサーバ証明書
 - 主に暗号化通信のみを 安価に提供

ノートンセキュアドシールへの進化

- 4月、オンラインの「信頼の証」ベリサインシールがノートンセキュアドシールに
 - 世界同時変更、シマンテック・グループとの連携強化の一環



- 当社ブランド・サービスの認知向上・浸透を図る絶好の機会
 - 企業IT担当者に強いベリサインブランドと、一般消費者に強いノートンブランドを融合
- 2012年は、ブランドの認知啓蒙に向けて、広告宣伝活動を展開
 - シールの進化、シールインサーチなど、一般消費者に向けての認知向上
 - セミナー、イベント出展など、リーズ獲得に加え、ブランド認知の広告宣伝を展開
 - ベリサインシール進化の広告宣伝費用として、上期に 約180百万円 を見込む




2011年12月期 決算
2012年12月期 業績予想
各セグメントの取り組み
SSLサーバ証明書
クライアント認証
ドメインマネジメント





2010年、2011年との比較

- 売上高 増加(1,763 → 1,933百万円、+9.6%)の背景
 - マネージドMPKI
 - 既存顧客の更新は順調。ネットバンキング口座増などから、1社毎の取引が増加
 - 二要素認証付き MDM(モバイル端末の一元管理・認証)
 - 成長ドライブとなる分野。引き合いは依然多く、案件取り込みに成果あり

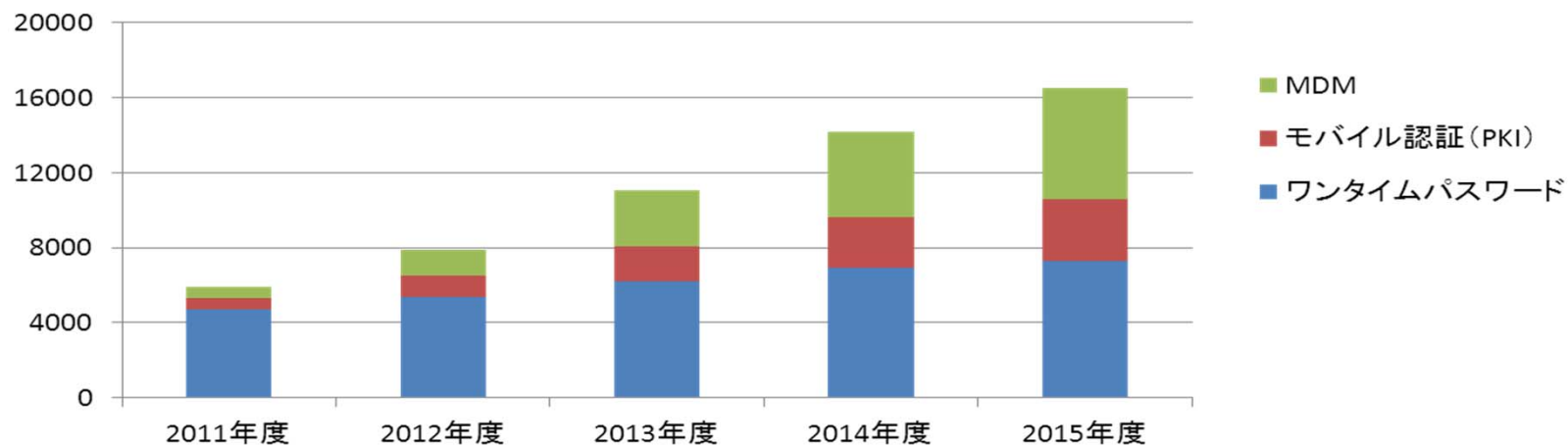
 - 受注高 微減(2,007 → 2,004百万円、▲0.1%)の背景
 - 前年比で、上期 ▲2.2% から、下期 +2.5% へと、受注が好転
 - 期初は震災、景気の不透明感を反映、セキュリティ投資延期や見合わせが影響
 - 下期、クラウド・モバイル環境の発展と、サイバー攻撃、フィッシングなどのトラブル多発を背景に、リスクベース認証、OTP、MPKI、MDMを受注
- 
- 2012年も、クラウド・モバイル環境の一層の発展を背景に、VIP、MPKIなどに注力





2012年の成長分野


- **モバイル認証のニーズ拡大**
 - スマートデバイスのビジネス利用拡大、BYOD(私物デバイス持込み)などが背景
 - ネットワークにアクセスする端末数に加え、社外からのアクセス機会が急増
- **強固な二要素認証のニーズ拡大**
 - 企業の情報漏えい、フィッシング被害など相次ぎ、セキュリティ強化が急務
 - オンラインバンキング向けに、ワンタイムパスワードやPKIなどの二要素認証を推奨する動き



クライアント認証 市場規模の推移予測 (単位:百万円)

出典:2011ネットワークセキュリティビジネス調査総覧(富士キメラ総研)






2011年12月期 決算
2012年12月期 業績予想
各セグメントの取り組み
SSLサーバ証明書
クライアント認証
ドメインマネジメント



2010年、2011年との比較

- 売上高 減少(175 → 131百万円、▲24.8%)の背景
 - 一部事業の撤退ほか、ドメイン関連事業に解約あり、更新による売上げが減少
 - 受注高 増加(160 → 227百万円、+41.3%)の背景
 - 新gTLD(generic Top Level Domain)の受注に成果あり、2012年に売上計上予定
- 
- 2012年は、デジタルブランドとしてのドメインネーム取得、活用、保全ビジネスを一層強化
 - 企業は新gTLD含む、ドメインネームをブランドマーケティング戦略で重要視

